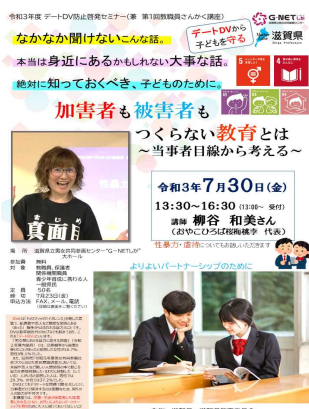


(1) 講座・研修事業



事業名	デートDV防止啓発セミナー			
事業形態	(主催) 滋賀県立男女共同参画センター		(共催) 滋賀県教育委員会	
目的	若年層で起こるデートDVについて、将来、深刻な夫婦間のDVにつながる可能性も高く、防止策が急がれている中で、青少年育成に携わる保護者、教職員、そして関係者がDV、虐待、またデートDV等により生きづらさを抱える子どもたちの思いについて理解を深め、DVに苦しむ人の支援や社会からDVを根絶する一歩とするため開催する。			
対象者	関係機関職員(市町DV相談担当者、市町男女共同参画担当者)、大学生、青少年健全育成に携わる人(民生委員児童委員等)、教職員、保護者、G-NETしが推進員等			
日時	日時 令和3年 7月30日(金) 13:30~16:30			
内容	テーマ 加害者も被害者もつぐらない教育とは~当事者目線から考える~			
	講師 柳谷 和美 さん 講師所属等 おやこひろば桜梅桃李代表 ご自身の被害経験も交えてデートDVや性虐待等様々な暴力についてわかりやすく教えていただいた。自分の気持ちをありのままに出していくことの大切さとそれを認めていくことの必要性、また、様々な暴力をなくするためには、加害者の背景にも目を向け、加害者自身の生きづらさにもアプローチしていくことの必要性についても学ぶことができた。被害者が自分を責めなくてもよいように、誰もが安心して過ごせるようになることで加害者も減り、誰にとっても安全・安心な社会になるよう、まず子どもに関わる大人が理解を深めて日々の指導にあたることの重要性と使命感を実感できる講座となった。			
場所	滋賀県立男女共同参画センター 大ホール			
参加者数	女性 20人	男性 9人	その他 0人	計 29人
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・柳谷さんの過去の思い出したくない経験を赤裸々に話してくださり、ありがとうございました。(活字で読むのと生の声は違います。)"子どもの性暴力は、子どもらしく生きる時間を失う"という言葉が心に残りました。子どもたちを守ることができるよう、日々努力したいと思います。 ・ものの考え方は、もともと加点法で自分を見る私でしたが、一部の人を否定する人から否定にあり、ネガティブになっていました。参加させていただき、また以前の自分に戻れたような気がしてきました。 ・子どもの成長には、環境、大人の行動や振る舞い、人とのつながり全てが影響を与えるということを再確認した。大人がどう自分らしく輝いて生きていけるか姿を見せていくかの重要性と責任の重さを考えさせられた。 ・自分も知識がある分野ではあるが、知識だけでは目の前の一人ひとりの子どもたちへの最善の関わり方に悩むことが多い。「泣かせること」、泣いていることを大切に扱うことの大切さも教わった。馬鹿の一つ覚えのように「あなたは悪くない」と力説することに対してのお話はすっきりしました。 ・DV、虐待等、現代では大なり小なり全ての人々が当てはまり、「グレーゾーン」なのではないかと思います。大人も子どもも区別なく、正しい性教育をする必要性について共感できました。知ったうえで自信を振り返るといのは当事者はとても怖くてしんどいことだとは思いますが、そのしんどさ等と一緒に寄り添えていければと感じました。ありがとうございました。 			



(1) 講座・研修事業

事業名	ユースリーダーセミナー①							
事業形態	(主催) 滋賀県立男女共同参画センター			(共催) -				
目的	学生を中心とした若者が、ジェンダー平等に向けた社会の動きや、社会や家庭での男女共同参画実現に向けた実践的な方法を学ぶことにより、ジェンダー平等の視点を活かした実践を行うとともに、ジェンダー平等な社会づくりについての啓発を積極的に行うことのできる人材育成を目的に開催する。							
対象者	県内大学生を中心とした若者							
日時	日時 令和3年 6月12日(土) 9:30~12:00							
内容	テーマ 「SDGsな社会を目指して、自分にできることを考えよう~ジェンダー平等な視点を持って~」							
	講師 谷口嘉之 さん 講師所属等 滋賀県立大学地域共生センター 地域連携コーディネーター SDGsについて基礎の部分から学ぶことができた。SDGsに関する動画の中からSDGsの目標を達成のための取り組みを見つけ出すワークにより、これまで意識していなかったことにも目を向けていくための視点をいただいた。また、グループワークを多く取り入れた講座であり、参加者同士の意見交換によって考えの幅が広がり、参加者の満足度の向上につながった。参加者からは若者の中にあるジェンダーの課題も出てきており、ユースリーダーの活動の必要性や意義についても再確認できる場となった。講師からは、SDGsと「当たり前を疑うこと」とをつなげて考えることを提案していただき、SDGsをより一層身近に、そして自分事として考える視点もいただいた。							
場所	滋賀県立男女共同参画センター 多目的スペース ZOOM							
参加者数	女性	10人	男性	6人	その他	0人	計	16人
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と違う視点からSDGsについて考える重要性を知った。 ・講座の最後にユースリーダーの趣旨を改めてお聞きして共感した。 ・SDGsのことについて、詳細に学んだことがなかったが、講師の方が、例やビデオ視聴も交えながら説明してくださり、とても分かりやすかった。インプットのみでなく、アウトプットの作業もあり、より理解できた。 ・今まで何となくしか知らなかったSDGsについて理解を深めることができた。また、「当たり前の中の問題に気づく」という大切な視点をいただいた。難しい問題ですが、しっかり考えていこうと思った。 ・気づいた「あたりまえ」について参加者同士で意見交換をすることで、自分では気づかなかった視点を知ることができ、とても勉強になった。SDGsの掲げる目標はどれも崇高なもので、簡単に実現できるものは一つもないと思いが、一人ひとりが「あたりまえ」を省みることで、少しずつゴールに近づいていけるのだと思う。 							



講座の様子 モニタはZOOMでの参加者

(1) 講座・研修事業

事業名	ユースリーダーセミナー②(ジェンダー平等子ども会議)							
事業形態	(主催)滋賀県立男女共同参画センター		(共催) -					
目的	学生を中心とした若者が、ジェンダー平等に向けた社会の動きや、社会や家庭での男女共同参画実現に向けた実践的な方法を学ぶことにより、ジェンダー平等の視点を活かした実践を行うとともに、ジェンダー平等な社会づくりについての啓発を積極的に行うことのできる人材育成を目的に開催する。							
対象者	小学生・中学生・学生を中心とした若者							
日時	日時 令和3年 7月25日(日) 13:30~16:30							
内容	テーマ ジェンダー平等子ども会議							
	講師 谷口嘉之 さん 講師所属等 滋賀県立大学地域共生センター 地域連携コーディネーター 第1講として、SDGsについての講演により知識を得るとともに、目標の一つである「5. ジェンダー平等を実現しよう」を中心として、子どもたちと大学生でクイズを交えながら意見交換を行った。その後、第2講として、講師から学校でのジェンダーを実現するための提言を行うという課題を与えられ、学校での課題やその解決のためにできることを大学生の進行のもと、話し合った。その場での提言は、G-NETしが情報誌に特集として掲載され、広く周知が図られた。							
場所	滋賀県立男女共同参画センター 特別会議室 研修室BC							
参加者数	女性	25人	男性	4人	その他	0人	計	29人
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの「ジェンダー平等」を通して男の子も女の子も分けちゃダメだなと思いました。自分が好きなものは堂々としていた方がその人にとっても安心する。 ・ジェンダーは個人個人が主となるようにするのかと思いました。また、男女関係なしにするということも大事だなと思いました。 ・ジェンダーということを学んで、男女の区切りをなくすことをみんなに知ってもらいたいと思いました。 ・女の子らしさ、男の子らしさで決めるのではなく、自分らしさを大切にしていきたいと思いました。こういうことを、より多くの人に知ってもらって一人ひとりが大切にされる社会になればいいと思った。 ・いろいろな人と話し合ってみて、いろんな考えがあって面白かった。 ・「男のくせに」「女のくせに」などということを減らせたらいと思う。 ・私はこの子ども会議を終えてジェンダー平等社会の大切さを知りました。今日まで私が「男らしさ」「女らしさ」が当たり前だと思っていたけれど、今日来て当たり前に思っていた「男らしさ」「女らしさ」は当たり前ではないと気づきました。みんな一人ひとり違って一人ひとりの意見を持っているので、その人の意見を聞いて考え直すことも大事だなと思いました。とても楽しかったです。 							



(1) 講座・研修事業



事業名	ユースリーダーセミナー③④(中・高等学校)			
事業形態	(主催)滋賀県立男女共同参画センター		(共催) -	
目的	就職や大学等進学をする前の中・高校生の時期から男女共同参画意識の浸透を図るとともに、対等な力関係でお互いが相手のことを考え思いやりの気持ちを持って相手に接することの大切さを学ぶとともに、主体的にジェンダー平等を発信することを目的に、当センターが専門家を高校へ派遣し出前授業を実施			
対象者	県内中学生・高校生			
日時	日時 令和3年 ①7月15日(木)10:50~12:40 ②11月29日(月)8:50~10:30			
内容	テーマ 「より良いパートナーシップを築いていくために~デートDVについて知り、伝えていくことから~」 講師 上野敦子 さん 講師所属等 四天王寺大学 准教授 派遣応募のあった学校に対して専門家を派遣し、デートDVについて知るとともに、アクティブラーニングの手法を用いて実践的なデートDV防止のための学びを深めた。 デートDV防止プログラム CONTENTS ・デートDVとは何かを知ろう ・デートDVを見わける方法を知ろう ・被害者にも加害者にもならないための方法を知ろう ・被害者や加害者への対応を知ろう			
場所	県内中学校			
参加者数	女性 144 人	男性 123 人	その他 0 人	計 267 人
参加者の感想	・将来、良い関係をつくるためにも、被害者側の立場に立ち、相手がどうすれば幸せになるかを第一に考えていきたい ・加害者でも被害者でもない立場の私たちの行動が大切になってくるのかなと思いました。自分ならまずは被害者の話を聞こうと思います。 ・もしかしたら気づかないうちに自分が加害者になっているかもしれないと思うと、言動には気を付けないといけないと思いました。 ・相談を受けたり自分が被害者になったときは、信頼できる大人に話そうと思った。 ・デートDVには、私たちがイメージするような暴力だけでなく、暴言などの精神的な暴力なども含まれることを知った。また、彼氏、彼女という関係での暴力は周りから気づかれにくいことも知った。			



(1) 講座・研修事業

事業名	ユースリーダーセミナー⑤(ジェンダー平等ミーティング)				
事業形態	(主催)滋賀県立男女共同参画センター		(共催) -		
目的	身近なジェンダーの問題について、参加者が互いの考えや経験を伝え合うことにより、より多くの知識をえるとともに、考えを深め、課題解決のためのより良い方策を導き出す。また、考えの発信につなげていくことでより広くジェンダー平等に向けた周知を行う。				
対象者	学生を中心とした若者				
日時	月に1回程度、身近なジェンダー平等に関するテーマに沿って、若い世代の参加者が互いの考えや経験を伝え合うことにより、より多くの知識を得るとともに、考えを深め、課題解決のためのより良い方策を導き出す。また、考えの発信につなげていくことでより広くジェンダー平等に向けた周知を行う。また、同世代がジェンダー平等についてどのように考えているのかを知ることができ、自分自身の考え方を広げることができるとともに、ジェンダーについて考える者同士の新しいつながりを作るきっかけの場ともしている。ジェンダーを語り合うことを通して暮らしやすい社会づくりを目指す意見交換会である。				
内容	6/25(金)14:00~ 「ジェンダー平等な社会になったら？」 7/14(水)14:00~ 「滋賀県の男女共同参画施策」 8/25(水)14:00~ 「ジェンダーと服装」 9/22(水)14:00~ 「身近なジェンダー問題」 10/10(日)10:00~ 「教育の場におけるジェンダー平等」 11/19(金)14:00~ 「性の多様性について考える」(中止) 12/15(水)14:00~ 「メディアとジェンダー」 1/14(金)14:00~ 「就職活動と自分らしさ」(中止) 2/9(水)14:00~ 「コロナ禍におけるジェンダー格差」 3/10(木)14:00~ 「ジェンダーニュース交流会」				
場所	滋賀県立男女共同参画センター 研修室等 ZOOM				
参加者数	女性	38人	男性	26人	その他 0人 計 64人
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> 改めてジェンダーについて考える機会があって、新しい気づきを得られた。 オリンピックによって、望まない露出の問題やリーダー層の女性の少なさについて提起された。この流れを止めないよう発信し続ける必要がある。 普段の会話の中にもジェンダー視点を取り入れたい。 服装について女性の課題の話になると考えていたが、実際は男性の服装の課題の方が大きいと感じた。 これまでジェンダーの問題に触れることがなかったので、これを機会に考えていきたい。 ここでの話し合いを広め、より良い社会の実現につなげたい。 				

